

集水井点検カメラ研究会 情報交換し工法深化を

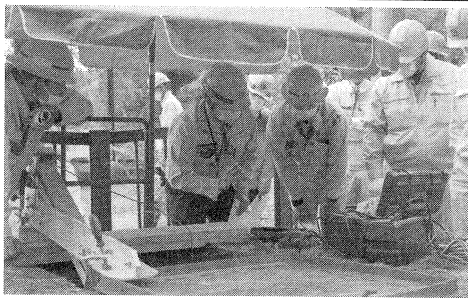
初の現地見学会開催



齋藤会長

今年6月に新たに設立された集水井点検カメラ研究会（齋藤浩之会長）

は、初となる現地見学会を10月25日と26日の2日間にわたって開き、本格的な活動をスタートした。見学会には会員から15人が参加。25日は長岡市内の入塩川地すべり7号集水井で、集水井点検カメラを使用した点検技術



長岡市内で行われた見学会

講習、翌26日は前日に取得した撮影画像データをパソコンを使い実際に整理する講習を行った。齋藤会長は「参加され

ている皆様は、実務を行っている技術者。機器類に触れたり熱心な質問をされたりと実のある研修となった。集水井点検カメラは、ハードの面では機器類の改良等があると思うが、ソフトの面でもデータ整理について工夫する点があると思うので、こうした場を通じて会員がお互い情報交換しながら工法を深化させてほしい」と期待した。

ている皆様は、実務を行っている技術者。機器類に触れたり熱心な質問をされたりと実のある研修となった。集水井点検カメラは、ハードの面では機器類の改良等があると思うが、ソフトの面でもデータ整理について工夫する点があると思うので、こうした場を通じて会員がお互い情報交換しながら工法を深化させてほしい」と期待した。